＜電動ドリルの使用方法＞

１）バッテリーを冷やさない

現地、ポイントへの持ち運び中に極端にバッテリが冷えることのないようご配慮下さい。
冷えすぎますと性能がフルに発揮できなくなることがあります。出来るだけ、ケースや
バッグなどに入れて運搬・移動することをお奨め致します。

２）補助ハンドルを必ず装着する

氷に穴を明ける際には、必ず補助ハンドルを取り付け両手で把持して下さい。
ハンドル無しでは不安定で危険ですので氷上での使用は避けて下さい。

３）ドリルの各スイッチのモード

・先端チャック部（黒）の後ろのグレー部分にある数字の１の前の「ドリル型の印」に
合わせて下さい。
・本体上部のスピード切り替えスイッチ（グレー）は必ず＜ＬＯＷ＞側でご使用下さい。
＜ＨＩＧＨ＞側では高速すぎて危険ですのでご注意下さい。
・トリガー（引きがね部）のすぐ上にあるスイッチが正転・逆転切替スイッチです。
（右手に持ったとして）ヒトサシ指側を押し込むと正転（右回り）、親指側を押し込むと
逆転になります。必ず正転側で穴明けを行って下さい。
・トリガーは無段変速ですので引き加減で低〜高速を自由に調整できます。

４）オートチャックについて

・本体先端のチャック（くわえ部）にアダプターを差し込み、すぐ後ろの黒いカバーを
押さえながら正転させると自動的にくわえることが出来ます。手で増し締めをし、
しっかりくわえたことを確認してから作業して下さい。

・逆回転でアダプターを離します。

５）穴明けのコツ

・最初、オーガーの刃が氷にしっかり噛むまではゆっくり回し、噛んでから徐々にスピードを
上げるようにして下さい。

・決して一気に穴を貫通させようとしないでください。ドリルセット全体を上下させるように
しながら掘り進め、穴の中の氷をオーガーで外に出す要領で行って下さい。

・特に気をつけていただく点
この電動ドリルは非常にパワフルです。掘り進んだ最後の氷底面は固いため、刃が氷に
食い込み、その反動で手や腕などをひねったり、怪我をする可能性がありますので
くれぐれもご注意下さい。
また、氷に噛んだりして上から大きな負荷を与えて明けようとすると電動ドリルを破損
することがあります。負荷のかけ過ぎで故障した場合は補償などがありませんので
ご注意下さい。

・上記を避けるための方法は、ドリルセット全体を「上下に動かしながら」穴明けすることです。
上下運動を繰返しながら掘り進み、最後の固い部分も同様に上下をさせながら行うと意外と
簡単に貫通させることが出来ます。

6）保管について

・水や氷などが本体内部に入り込むと故障の原因となりますので、使用後は
必ずケースやバッグ、防水性のある袋などに入れて保管することをお奨め致します。

それではこの後も弊社製品を活用されワカサギ釣りを心ゆくまでお楽しみ下さい。
お問い合せ・ご質問は、いつでも、お気軽に、メールにて。

【オレ鮎＆秘伝ＳＨＯＰ】